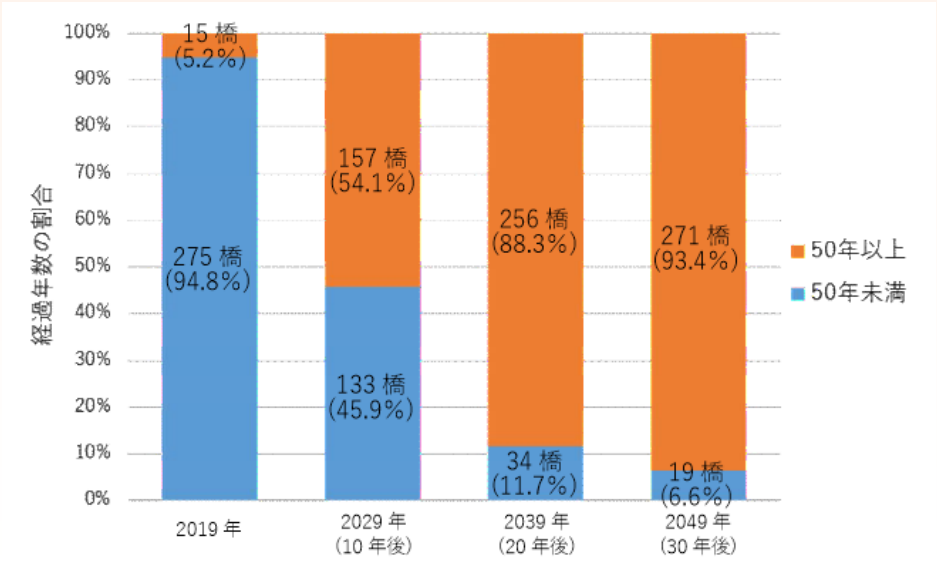
黒部市の橋梁長寿命化修繕計画

＜背景・目的＞

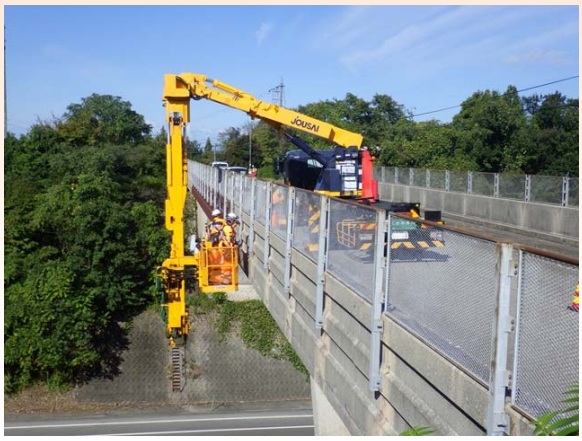
- 黒部市では、令和元年度時点で、290橋(橋長2m以上の全橋梁)の道路橋を管理しています。
- 計画策定を行った290橋では、すでに建設後50年を経過する高齢化橋梁は2019年では15橋で全体の5.2%ですが、20年後の2039年には88.3%となり、橋梁の高齢化が急速に進行します。
- このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の補修・架替えに要する費用の縮減と、多大な費用を要する架替えが一時期に集中するのを避けるために橋梁の長寿命化を図る必要があります。
- 橋梁の長寿命化を図るためには、損傷が大きくなってから対策を行う「事後保全」ではなく、損傷が大きくなるまでに予防的に補修を行う「予防保全」を行う必要があります。



建設から50年が経過した橋梁の割合

＜計画の概要＞

- 修繕計画の策定にあたり、今後、橋梁をどのように維持管理していくのかを整理しました。
- 規模の大きさや、道路、鉄道に架かる橋梁などの重要性を整理し、対策優先順位を考慮した維持管理を行います。
- 修繕に加え、安全パトロールや定期点検を実施して橋梁の状態を継続的に把握していきます。



定期点検状況

＜今後の方針＞

- 令和7年度以降も引き続いて適切な維持管理をおこない、市民の皆さんの安全を確保するとともに、補修に要する費用の縮減に努めていきます。
- 令和7年度以降は4回目の定期点検を実施し、橋梁の健全度の把握に努めます。
- 本計画は令和8年2月段階のものであり、今後も毎年点検を実施し、点検結果の蓄積に伴い更新していきます。

＜コスト縮減に関する具体的な方針＞

- 利用状況や代替ルートなどを考慮しながら、令和８年度までに５橋の集約化・撤去について検討します。
- 新技術の積極的な活用により、定期点検の効率化や高度化、費用縮減を目指します。
- 集約化・撤去については令和8年度までに約50万円、次回の定期点検については約300万円のコスト縮減を目指します。

黒部市
CITY OF KUROBE
黒部市都市創造部道路河川課
富山県黒部市三日市 1301 番地